

キレイに咲かせる秘訣とは

花しょうぶの手入れをしているシルバー人材センターの方々に、キレイに咲かせる秘訣についてお話を伺いました。

初立池の花しょうぶは、豊橋の賀茂菖蒲園から株分けしてもらったり、初立池でも株分けをしたりして増やしてきたそうです。株分けとは、親株の脇から生えてきた株を根ごと切り離して別に植える繁殖方法です。株が大きくなりすぎると老化してしまつて大きな花が咲かなくなるのだとか。株分けを成長期初めの早春に行い、株に与えるダメージを少なくすることにより、大輪の花が咲くのだと教えていただきました。

「株分けや花がら摘み、草取りなど全て手作業で行うので大変だけど、今年の花しょうぶは、今まででも1、2を競うほどのいい出来です」と話すシルバー人材センターの方の笑顔が印象的でした。



▲心を込めて育てているシルバー人材センターの皆さん

季節のみどころ紹介

初立池周辺は、「初立池公園」として親水デッキや遊歩道が整備されていて、憩いの場としてオススメです。春にはサクラ、初夏には花しょうぶやアジサイが咲き、冬には飛来する水鳥などを楽しむことができます。

また今年は、花しょうぶの咲く季節が終わっても、初立池公園で季節の花を楽しんでもらえるようにと、棚田の周りにヒマワリの種をまいたそうです。夏にはまた棚田の一番上に立ち、満開のヒマワリを眺めに行こうと思います。皆さんも、ぜひ初立池を訪れてみてください。

みどころ フォトレポート



●アジサイ



●親水広場



●カモ



●サクラ

広報サポーター カメラレポート



河合

*心を潤すアジサイ

ケアハウスパシフィック（南神戸町の老人ホーム）のアジサイは、植えられてから17年が経つそうです。背が高く大きな花弁を付けたアジサイは輝いて見え、施設長が自ら水やりをしているとのことと、とても大事に育てられていることが伝わってきました。敷地内のコミュニティスペースでは、年間を通じてイベントが行われており、これからの季節は「納涼ビアガーデン」が開かれるのだそうです。一般の方が利用可能な喫茶もあり、緑に囲まれたベランダを出ると太平洋を望むことができます。利用の方々が続々と集まって来て、とても心地良さそうに過ごしていました。

